

地域福祉推進計画 実施計画ロードマップ

【重点取組1】地域振興協議会における福祉機能の強化

基本目標Ⅰ：住民参加の促進と福祉活動の活性化／基本計画1：小地域における福祉機能の強化／(1)地域振興協会の福祉機能の強化

【めざす姿】 地域振興協議会を単位として、様々な地域組織や福祉関係機関などによってネットワークが形成され、生活課題の発見や相談支援の体制が構築されるとともに、地域の福祉関係者が集い、様々な活動をするための拠点づくりが進み、住民主体の多様な地域福祉活動が展開されています。

年次	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	【評価基準】 A:目標をすべて達成 B+:目標を概ね達成 B:目標の半分以上を達成 B-:目標の半分以下を達成 C:着手済み D:未着手
総合 評価	D	C	C	B		

重要業績評価指標(KPI)	地域振興協議会・民間団体の役割	社会福祉協議会の役割	行政の役割
1. すべての地域振興協議会において機能強化モデル事業を実施 2. 福祉コーディネーターとして新たに集落支援員の配置を希望する地区に配置完了 3. 社会福祉協議会にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置 4. すべての地区において「いきいき100歳体操」等の介護予防活動（参加者への移送サービス含む）を実施 5. すべての地区において常設型サロンを実施 6. すべての地区において地区相談員の養成・配置を完了 7. すべての地区において高齢者等の見守り支援体制を確立	【期待される主体】地域振興協議会 ●福祉活動部門の体制充実を図ります。 ○福祉コーディネーターの配置 ○地区相談窓口の設置 ○福祉学習機能の強化 ○相談員・ボランティアの発掘・育成 ●福祉部門を核とする福祉活動の促進を図ります。 ○常設型サロンの設置 ○介護予防活動の実施 ○見守り支援活動の実施 ○生活支援活動の実施 ●地域振興協議会における介護予防活動への移送サービスの実施	●福祉活動部門への活動支援体制を強化します。 ○研修会、学習会の開催 ○相談員や福祉コーディネーターとの連携と人材育成支援 ○常設型サロン活動支援 ○見守り活動強化に向けた取り組み支援 ○助成金の交付等による事業支援	●地域福祉活動の充実を図る地域振興協議会に必要な応じて福祉コーディネーターを配置します。 ●モデル事業を通じて体制充実に向けた支援をします。 ●健康福祉課と企画政策課が常に連携し中心となって、モデル事業に効果的に向き合える庁内体制を確立します。 ●移送サービスの実施支援に向けた庁内連携を進めます。 ●各種委員の役割や位置付けの見直しを行います。

年次	進捗の目安	地域振興協議会・民間団体の取り組み実績	社会福祉協議会の取り組み実績	行政の取り組み実績	その他特記事項
2021 (R3) 年度	◎モデル地区事業（別紙）実施地区を2地区指定 ◎モデル地区では、まず地域振興協議会を核とするネットワーク組織を立ち上げ、上半期に地区の現状把握・課題整理や地域福祉推進計画に関する研修会を実施。下半期には【重点取組4】の「いきいき100歳体操」の立ち上げに向け、ネットワーク組織を母体に事業計画を策定。また必要に応じて活動の担い手となるボランティアの養成や福祉コーディネーターの配置を実施 ◎モデル地区以外の5地区においても、地区の現状把握・課題整理や地域福祉推進計画に対する周知と理解促進を図る。さらに、地域振興協議会を核とするネットワーク組織を立ち上げ、次年度からのモデル地区事業の開始に向けて、必要な研修や人材発掘などの取り組みを順次開始	【取組実績】 ▼東西町地域振興協議会 ▼天津地域振興協議会 ▼大田地域振興協議会 ▼法勝寺地区地域振興協議会 ▼南さいはく地域振興協議会 ◎7月13日 第1回福祉推進事務局会議開催 ・当面の活動概要の承認 ・アンケート調査について内容及びアンケート対象者の決定 ・買物バス及び買物代行支援サービスについて意見交換 ◎11月10日 健康福祉課より、南さいはく地域の福祉推進に係る各種地区診断資料の説明を受ける ◎11月30日 第2回福祉推進事務局会議開催 ・アンケート調査結果の報告 ・地区診断資料の説明と意見交換 ・買物対策として町内で実施されている各種取組について説明と意見交換 ・各集落での「いきいきサロン」の組織概要・活動概要及び現状の問題点等の説明及び今後の対策討議 ▼あいみ手間山地域振興協議会 ▼あいみ富有の里地域振興協議会	【予定される取り組み】 ◎CSWの配置 ◎モデル事業を含む地区への支援体制の確立（次年度以降も継続的に実施） ◎モデル地区に配置される福祉コーディネーターへの研修等の活動支援を実施（次年度以降も継続的に実施） ◎モデル地区以外の地区へも来年度以降の準備を順次始める（次年度以降も継続的に実施） 【取組実績】 ◎R3年7月に南さいはく地区で福祉推進事務局が立ち上がり、第2回目以降からの取り組み協議に出席	【予定される取り組み】 ◎CSWの配置支援 ◎モデル事業を含む地区への支援体制の確立（次年度以降も継続的に実施） ◎モデル地区への福祉コーディネーター配置と研修等の活動支援を実施（次年度以降も継続的に実施） ◎モデル地区以外の地区へも来年度以降の準備を順次始める（次年度以降も継続的に実施） 【取組実績】 未実施	
2022 (R4) 年度	◎モデル地区を5地区に拡大して全地区で機能強化プロジェクトを実施済み	【取組実績】 ▼東西町地域振興協議会 10月から福祉コーディネーターの配置、生活課題解決要望書による問題点の可視化、不在地主の草刈りボランティア、道路補修工事ボランティア ◎1～4区の区単位でのサロン活動継続実施、100歳体操継続実施、高齢者独居・昼間独居・高齢世帯の見守り体制継続実施 ◎買い物支援に協力（社協・JOCA） ▼天津地域振興協議会 ◎天津地域振興協議会をモデル地区に拡大 ◎地域福祉コーディネーターの募集を開始 ◎見守り支援活動の実施 見守り声掛け活動を3ヶ月毎にメッセージカードと粗品を持って見回り。 ◎買い物ツアーの実施 日頃買い物にで掛ける機会が少ない人を対象に買い物ツアーを実施中。 ▼大田地域振興協議会 取り組みがスタートできていない為、令和5年度より取り組み	【予定される取り組み】 ◎モデル事業を含む地区への支援 【取組実績】 【予定される取り組み】 ◎R4年4月CSWを配置。 ◎モデル事業への支援として各地域振興協議会へ適宜訪問（東西町：10回、天津：13回、大田：3回、法勝寺：6回、南さいはく：3回、手間山：8回、富有：4回）し、意向や現状把握、福祉推進事務局の設置について協議 その結果、天津地区では、5月から福祉懇談会が開催。10月には東西町地区にて福祉推進委員会が立ち上がり、地域の取り組みについての協議を開始 ◎モデル地区の福祉コーディネーターへの活動支援として、10月・11月の2回福祉コーディネーターへの研修を実施 12月中旬から南さいはく地区の福祉コーディネーターと一緒にいきいきサロン・代表者との面談など活動支援を実施 ◎モデル地区以外へ福祉推進事務局の設置を勧めていった結果、R5年4月に天津地区にも設置予定 ◎地域の見守り体制づくり支援のひとつとして支	【予定される取り組み】 ◎モデル事業を含む地区への支援 【取組実績】 ◎モデル地区事業を2地区で実施中（南さいはく、東西町） 各福祉推進事務局へ参加 ◎10月1日から福祉コーディネーターを配置し、定例MTを開催し活動を支援 ◎企画政策課、社会福祉協議会、健康福祉課での定例MTを開催。7地域振興協議会へ定期的に訪問し進捗状況の確認と取組みを支援	

		みを強化する。 ▼法勝寺地区地域振興協議会 ◎コロナウイルス感染拡大対応のために各取組みが未実施となってしまう。次年度へ繰越しとなった。 ▼南さいはく地域振興協議会 ◎5月4日 福祉コーディネーター採用に向けた雇用条件等健康福祉課より説明を受ける ◎6月15日 第1回推進事務局会議開催 当面の活動概要及び福祉推進構想について意見交換 又福祉コーディネーター採用に向けての説明、どこでもなんぶ号の概要について ◎10月13日 第2回推進事務局会議開催 予算についての協議、ふれあい部の今後の活動、福祉コーディネーターの役割と活動（採用された福祉コーディネーターが初めて会議参加） ◎1月12日 第3回推進事務局会議開催 ふれあい部活動報告、移動販売車の概要、ｽﾏﾙ教室について ▼あいみ手間山地域振興協議会 ◎福祉活動部門の体制について 事務局を中心に各集落の核となる者で福祉推進事務局案とする。福祉コーディネーターの配置を R5.4 から準備中 その他は未着手 ▼あいみ富有の里地域振興協議会 ◎令和5年3月までに福祉推進事務局を立ち上げる。	え愛マップづくりを支援（4集落） ◎集落の見守りの担い手の一員である地域福祉委員の連絡会を地区ごとに実施するなど活動への啓発につなげた。		
2023 (R5) 年度	◎福祉コーディネーター（集落支援員）の配置を必要とする地域振興協議会に配置完了 ◎全地区において週1回以上「いきいき100歳体操」を実施 ◎各地区の第4期地域づくり計画の策定にあわせて地区に必要な福祉活動を検討し、地域づくり計画に位置付ける	▼東西町地域振興協議会 ◎地域福祉推進委員会での「生活支援」の検討 ・共助交通についての勉強会（イミカ原田アドバイザー他） R5.2月 ・カーシェアリング勉強会（米子市永江地区見学） R5.5月 ・「あいのわ銀行付添サービス」勉強会（社協・CSW） ◎子ども・高齢者の居場所づくり・常設サロンを設置 「つどいの活用」について ・R5年4月より、火～金曜日の開放 ・「駄菓子屋さん」小・中学生が企画から運営（3回実施） ・「100円セルフコーヒー」開始（R5年12月～） ・教育委員会・地域おこし協力隊員・高校生サークル 地域の方による「つどい活用イベント」を開催（4回実施） ・東西町地区福祉推進委員会実施 R5.1.2.5.6.8.10.R6.2月 ＜検討取組＞・子ども食堂 ・支え愛マップの作成 ▼天津地域振興協議会 ◎地域福祉コーディネーターの継続募集 ◎お出かけツアー4回の実施 ◎見守り活動3回の実施 ◎福祉推進事務局・福祉懇談会開催（継続）4・7・8・11・12月 ◎100歳体操の7区懇談・懇懇 ▼大国地域振興協議会 ◎大国福祉を考える会 協議会を中心に民生委員、健康福祉課、社会福祉協議会とで大国福祉を考える会を立ち上げ、4回の会合を行った。 ◎相談窓口の設置 ・協議会事務局を相談窓口とすることを広報おくにで告知した。 ▼法勝寺地区地域振興協議会 ◎令和5年度定期評議会において新役員が決定したら福祉推進委員会を立ち上げて進めたい。 構成メンバー：ふれあい部3役、各部の部長、民生委員代表、地域福祉委員代表、会長、副会長、社協のCSW ◎役員会に於いて地域福祉推進計画の説明と意見交換 ◎民生委員との意見交換会 ◎役員会に於いて福祉推進事務局の立ち上げを決定 ▼南さいはく地域振興協議会 ◎年4回福祉推進事務局会議開催（継続） ⇒年3回の福祉推進事務局会議を開催した 8月・11月・2月 ◎福祉推進事務局活動・福祉などの情報を主とした広報誌発	【予定される取り組み】 ◎モデル事業を含む地区への第4期地域づくり計画の策定支援（次年度以降も必要により継続） 【取組実績】 ◎11月に南部町地域福祉研修会を開催（65名参加）し地域福祉推進計画の理解・促進を図った ◎各地域振興協議会へ健康福祉課担当職員と毎月訪問し地域福祉推進計画の進捗確認や取組などの相談を行った（SC、CSW） ◎4月に福祉コーディネーターへの研修会を健康福祉課と合同で実施。また、福祉コーディネーターへ適宜、各研修会の参加案内を行った ◎福祉推進事務局が立ち上がった地区の福祉推進事務局会議への出席（SC、CSW） ◎常設型サロン活動支援の一環として、東西町、天津、手間山地区、22集落にてeスポーツ体験会を開催 ◎手間地区の見守り懇談会へ参加（2回） ◎共助交通実施に向けた協議へ参加（東西町、天津） ◎共同募金助成を公募により、ふれあい・交流・拠点整備・地域づくり等に助成を行った（6集落 2団体） ◎町長の集いの場の訪問にSCが行政担当者と訪問し、福祉分野を中心に生活状況等の掘り興しを行った（47拠点） ⇒今後、それぞれ各地域振興協議会における重点的な福祉課題を共有し取り組んでいく	【予定される取り組み】 ◎モデル地区を含む地区への第4期地域づくり計画の策定支援（次年度以降も必要により継続） 【取組実績】 ◎健康福祉課で各地区に地区担当として2名ずつ配置し協議会を支援。 ◎4月1日からあいみ手間山に福祉コーディネーターを配置し、毎月定例MTを開催し活動を支援 ◎企画政策課、社会福祉協議会、健康福祉課での毎月定例MTを開催。7地域振興協議会へ定期的に訪問し進捗状況の確認と取組みを支援（ミーティングフロー参照） ◎8月25日先進地視察として八頭町へ訪問（25名参加）	

		刊(年4回程度) ⇒年2回の発行となった 7月・3月 ◎広報誌作成にあたり地域住民参加の方法を模索・検討(子どもの参加含む) ⇒地域住民の参加については本年度は断念した 住民への取材を行う事で参加してもらう形となった 住民から情報の提供があれば対応していきたい ◎南さいはく交流拠点周知活動を展開・支援(スマホ教室・回顧展などのイベント) ⇒スマホ教室 開催回数8回(継続開催中) ⇒写真展 六十年の思い出 6/5～8/21 開催 ⇒七夕まつりなど各部会イベントの開催 ◎いきいきサロン現状把握・サポート ⇒福祉コーディネーター・南部町役場・社会福祉協議会がいきいきサロンの聞き取り・参加する事で集めた情報を福祉推進事務局会議で共有・検討した ・南さいはく16集落中12集落が参加している ・サロン数14 登録者数 約200名 ・いきいきサロン催しの提案など引き続き継続中 ○100歳体操の周知・参加支援推進 ・今期新たに3集落が参加 計8集落となった ○第4期地域づくり計画において協議会の今後の取り組みを盛り込んだ ◎PDCAサイクルを元にこれまでの活動の継続・廃止・発展を検討・次期取り組みへ反映 ⇒PDCAサイクルを元にこれまでの活動の継続・廃止・発展を検討・次期取り組みへ反映させた ▼あいみ手間山地域振興協議会 ◎福祉活動部門の体制充実 ○福祉コーディネーターを配置(4月) ○相談窓口をてま里に設置し福祉コーディネーター常駐 ◎福祉活動の促進 ○常設型サロンを、てま里に設置 ○見守り支援活動は、各集落のふれあい部員、地域福祉委員(社協)、健康増進委員及び民生児童委員とで見守り懇談会(見守りカードの更新と状況共有)を年2回開催(平成19年度から地域振興協議会で開催し継続中) ▼あいみ富有の里地域振興協議会 ◎評議会において承認された福祉推進事務局設置準備 健康福祉課、企画政策課、社会協議会及び事務局員を中心とした地域福祉計画の勉強会等開催(毎月1回)し福祉推進事務局立上げに反映させる ◎世代間交流でひまわり保育園児があいみディサービスへ焼き芋を提供 ◎各集落の自主防災組織へ要支援者・独居老人・75歳以上高齢者の名簿作成することで災害時等での活用			
2024 (R6) 年度	◎全地区において地区相談員の養成と窓口の開設を完了 ◎全地区において常設型のサロン(「いきいき100歳体操」、カフェ、健康教育など)を実施	▼東西町地域振興協議会 ◎つどい常設サロンでいつでもeスポーツ体験可能とした。 ◎つどい常設サロンに住民の方の作品展示スペースを作りつどいの活用・集まりの場を広げた。 ◎第4期地域づくり計画(R7～R11)作成に伴い、見守り・福祉の課題の検討をした。 ▼天津地域振興協議会 ◎地域福祉コーディネーターの配置(6年7月1日) ◎お出かけツアー2回5月・12月の実施 18名 ◎見守り活動年3回の実施 対象(独居46件夫婦22件) ◎福祉推進事務局・福祉懇談会開催(継続)9月 ◎100歳体操の8区懇談・懇憑 毎月1回延べ60人 ◎いきいきサロン8区懇談・懇憑 毎月1回11グループ延べ100人	【予定される取り組み】 ◎全地区での支援体制の確立 【取組実績】 ◎12月に南部町社会福祉推進大会を開催しご近所福祉クリエイターに講演してもらい地域での支え合いについて理解を深めた(参加者:73名) ◎7月に天津地区に配属された福祉コーディネーターへ研修を実施(座学、配食同行、いきいきサロン世話人紹介他) ◎主に常設型サロンが立ち上がっている地区について、eスポーツ、100歳体操などで適宜関わり、定期訪問、推進事務局会議で活動についての相談を行った ◎12月に東西町地区(1～4区)にて支え愛マップ	【予定される取り組み】 ◎全地区での支援体制の確立 【取組実績】 ◎健康福祉課で各地区に地区担当として2名ずつ配置し協議会を支援。 ◎7月1日から天津に福祉コーディネーターを配置し、毎月定例MTを開催し活動を支援 ◎企画政策課、社会福祉協議会、健康福祉課での毎月定例MTに人権・社会教育課(公民館)を加え、庁内体制を強化。7地域振興協議会へ定期的に訪問し進捗状況の確認と取組みを支援(ミーティングフロー参照) ◎健康増進委員の在り方について検討し地域振興協議会へヒアリング。	

		◎常設型サロンの開設 手芸カフェ 毎月2回延べ12人 ▼大國地域振興協議会 ◎大國福祉を考える会 協議会を中心に民生委員、健康福祉課、社会福祉協議会とで大國福祉を考える会を立ち上げ、4回の会合を行った。 ◎相談窓口の設置 ・協議会事務局を相談窓口とすることを広報おくにで告知した。 ▼法勝寺地区地域振興協議会 ◎4月18日 第1回福祉推進事務局会議開催 ・地域福祉計画について、地域で活動をされている皆さんとの意見交換を行った。 ・福祉コーディネーター配置に向けての意見交換。 ◎8月28日 第2回福祉推進事務局会議開催 ・ポジショニングマップを使って、法勝寺地区の特徴を出して福祉の方向性と協議会の取組みについて意見交換。 ・相談窓口設置に向けての意見交換 ・常設サロン開設に向けての意見交換 ▼南さいはく地域振興協議会 ◎福祉推進事務局会議開催(継続) ・新たに民生委員・地域福祉委員・健康増進委員の事務局会議参加検討 ⇒新たに民生委員がメンバーとなった ⇒来年度の健康増進委員の参加を福祉推進事務局会議で検討した ⇒前年度の福祉推進事務局会議で開催回数を決めない事となった ⇒R6年度は6月10月2月の計3回の開催 ◎地区相談窓口(福祉コーディネーター・民生委員・地域福祉委員)利用周知拡大のための活動実施 ⇒未達成 ⇒100歳体操に福祉コーディネーターが参加する事で集落の住民に福祉コーディネーターの周知に努めた 4月～2月20日まで計90回参加 ◎常設型サロン設置検討 ⇒未達成 ⇒南さいはく交流拠点かまくら山荘を集落住民が(常設型サロンの足掛かりとなる)集いの場として使えるよう行政に働きかけた ◎福祉推進及び活動報告等の広報誌発刊(継続) ⇒継続中 年2回発行 (R7.3月発行予定) ◎いきいきサロンサポート(継続) ⇒福祉コーディネーターのサロンへの参加3回 ◎100歳体操の周知・参加支援推進(継続) ⇒各集落の100歳体操に福祉コーディネーターが参加 4月～2月20日まで 計90回 ⇒福祉推進事務局会議で100歳体操とeスポーツの体験会開催を検討し、開催した(参加者17名) ⇒情報紙に100歳体操について掲載し周知に努めた 計2回 ⇒参加していない住民に声掛けを行った ⇒今期新たに1集落が参加 計9集落の参加となった ⇒体操を行っていない集落の住民や体操に参加中の集落の住民が他集落に出向き体操に参加している→3集落 ◎ふれあい部 見守り活動 年9回 ⇒継続中 ◎PDCAサイクルを元にこれまでの活動の継続・廃止・発展を検討・次期取り組みへ反映 ⇒PDCAサイクルを元にこれまでの活動の継続・廃止・発展を検討・次期取り組みへ反映させた ▼あいみ手間山地域振興協議会 ◎介護予防活動・常設サロン機能の追加・充実させるため「いこい荘」及び「交流会館」での令和7年度開始を目指し検討。	づくりが実施され、助成金を交付 ◎あいみ手間地区にて7月、12月に見守り懇談会が開催され参加(3名)。天津地区にて8月に地域福祉懇談会が開催され参加(2名) ◎各地区で見守りのネットワーク体制構築の提案を行っているが実現には至っていない	
--	--	---	---	--

		◎生活支援活動としては、既存の移動サービスや町内バスの活用を PR。 ▼あいみ富有の里地域振興協議会 ・R6. 7 より交流拠点えんがーの富有で 100 歳体操を実施。毎週火曜日開催。 1 0 0 歳体操未実施集落への積極的参加呼びかけを行うことと、誰でも参加できるようにした。毎週 1 0 名程度の参加で継続中。複数の集落から参加があり、体操終了後のおしゃべりタイムでは集落の横の繋がりができた。 なお、この 100 歳体操の事例は R6. 11. 20「八頭×南部町つながり合い・支え合いのまちづくり」で活動発表を行った。 ・社協・健康福祉課・協議会の 3 者協議の上、R7. 1. 8 福祉推進事務局を設置完了とした。R7. 2. 19 に民生委員に出席をいただき、集落内の困りごと等の意見交換を行う。また、次年度は、交流拠点えんがーの富有での常設型いきいきサロン開設を検討することとした。次回開催を R7. 3. 26 とした。			
2025 (R7) 年度	◎全地区において地区相談員と民生委員、地区・集落のボランティアの連携による見守り支援体制を確立 ◎次期地域福祉推進計画の策定に向けて、地域振興協議会の組織体制や福祉活動の課題を集約する	▼南さいはく地域振興協議会 ◎年 4 回福祉推進事務局会議開催(継続) ◎地区相談窓口の利用拡大 ◎常設型サロン開設 ◎常設型サロン周知・利用拡大のための広報・イベント開催 ◎これまでの活動(令和 3 年度～令和 6 年度)を維持・継続 ◎D C A サイクルを元にこれまでの活動の継続・廃止・発展を検討・次期計画へ反映 ▼あいみ富有の里地域振興協議会 ◎福祉コーディネータの配置	【予定される取り組み】 ◎支援の継続を行いながら次期地域福祉推進計画の策定に向けて課題集約・整理を行う ◎事業・取り組みの効果と課題の検証を行い、次期計画へ反映させる	【予定される取り組み】 ◎次期推進計画の策定に向けて課題集約・整理を行う ◎事業・取り組みの効果と課題の検証を行い、次期計画へ反映させる	